

いのち輝く地球を未来に繋ぐ

-Keeping the World Vibrant-

いのちの始まり、いのちの未来

JOURNEY TO LIFE

未知なる深海から遙かなる宇宙へ、いのちを巡る壮大な旅

From the unknown depths of the deep sea to the far reaches of the universe, a grand journey through life.



MITSUBISHI PAVILION
三菱未来館

Introduction

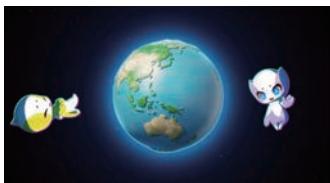
旅のガイド

地下空間 (B1F)



来館者は階段を下って受付を済ませ、はじめに地下に広がる柱のない大空間へと入っていきます。涼しい日陰の元で、いのちを巡る壮大な旅「JOURNEY TO LIFE」ツアーをお楽しみいただけます。

プレショー (1F)



ここからいのちを巡る壮大な旅が始まります！プレショーでは、ツアーナビゲーターのナナ(cv.早見沙織)とビビ(cv.花江夏樹)による深海から火星までの7500万kmの旅についてのレクチャーをご覧いただけます。

メインショー (2F)



時空を超えて移動できる【JOURNEY TO LIFE】号に乗り込み、いよいよいのちを巡る壮大な旅へと出発！幅11m・高さ9mの超大型曲面LEDスクリーンによる、臨場感あふれる没入型映像体験をお楽しみいただけます！

ポストショー (1F)



「JOURNEY TO LIFE」ツアーのエピローグでは、三菱グループ各社が、次の世代にいのち輝く未来をつなぐために取り組む「環境づくり」の事例を紹介しています。



三菱未来館
ツアーナビゲーター



ナナ

『JOURNEY TO LIFE』では、三菱未来館のオリジナルキャラクター

「ナナ」と「ビビ」がツアーのナビゲーションを担当します。

このキャラクターは、「いのち」をキーワードに、

ロボットでも既存の生き物でもないまったく新しい未来型のナビゲーション生命体
としてデザインされました。

目は、命の水と地球・生命を連想させる澄んだ青。

同じ遺伝子を持つ双子で、共に好奇心旺盛。

何かを見つけること」「発見すること」が大好きで、
新しいことに出会うと、つい「大発見！」とふたりでユニークになるのが特徴です。

クリオネのようにふんわりと漂いながら、自由に空間を飛び回り、
乗客と同じ目線で驚いたり、ときには掛け合いをしながら、

わかりやすくナビゲーションしてくれます。

豊富な知識があり、フレンドリーな性格で、深海から火星まで7500万キロの旅を
楽しく、安全に案内してくれる頼れるナビゲーターです。



Introduction/ 旅のガイド

Astrobiology/ アストロバイオロジー

MOTHER SHIP,UNIFORM&STAFF

VIRTUAL PAVILION / バーチャルパビリオン

Astrobiology

アストロバイオロジー



総合監修

東京科学大学 地球生命研究所 所長／教授 関根 康人

1978年東京都生まれ。2001年東京大学理学部卒。
2006年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。
東京大学准教授などを経て2018年6月より東京工業大学地球生命研究所教授、
2022年4月より同研究所の所長に着任。
金沢大学環日本海域環境研究センターの客員教授も務める。
2022年日本学術振興会賞、2023年井上学術賞を受賞。
研究分野は、惑星科学・アストロバイオロジー。
太陽系における生命存在の可能性を研究しつつ、
生命を宿す星がどのような条件を備え、
地球の生命がどこから来たのかの解明を目指す。

主な活動実績

- ・土星衛星エンケラドゥスに熱水噴出孔を発見
- ・『土星の衛星タイタンにも生命体がいる!』『地球外生命』を探す
- ・火星や木星・土星の衛星の国際科学探査にも関わる

書籍

いのちの始まり、いのちの未来



Introduction/ 旅のガイド

Astrobiology/ アストロバイオロジー

MOTHER SHIP,UNIFORM&STAFF

VIRTUAL PAVILION / バーチャルパビリオン

概要 Introduction

アストロバイオロジーとは、“なぜ地球は生命の星になったのか、宇宙に我々以外の生命はあるのか、生命はこれからどう進化していくのか”という疑問に答えようとする学問です。つまり、いのちの始まりからその未来までを宇宙からの視座にたって考えるということです。今、人類は、地球を越えて、月へ火星へと、乗り出そうとしています。これは、地球の歴史から見ても画期的な事件です。

40億年前の生命のはじまり、5億年前の海から陸への生命のひろがりに匹敵するからです。5億年前の海の生物にとって、陸上は死の世界でした。もちろん、人類にとっても宇宙は死の世界です。それでも、未知なる世界に乗り出そうとするのはなぜでしょう。40億年前の原始生命は、深海底に湧く温泉、熱水噴出孔に生きていました。その生命も、温泉を離れ、海全体に広がりました。5億年前の海の生物も陸に広がりました。多くが安心の生息地に留まるなか、僕らは、繰り返し未知の世界に乗り出した生命の子孫です。未知を求める好奇心は、40億年の生命進化に照らせば、必然ともいえる生きる本能に違いありません。

さて、未知なる宇宙、火星には何が待っているのでしょうか。科学者は、生命のはじまりに迫れると期待しています。40億年前、地球上に生命が誕生したころ、火星は地球と瓜二つの水の惑星でした。火星にも同様に生命が誕生していても、おかしくはないのです。その後、地球は水の惑星であり続けた一方、火星は凍結し、乾燥しました。しかしそうであるからこそ、地球では決して見つからない、生命誕生当時の証拠が、火星にはふんだんに残されています。人類が火星に行くという僕らの未来の旅は、いのちの始まりを探す旅でもあります。三菱未来館では、皆さんと一緒に、こういったいのちの始まりからいのちの未来までを旅します。40億年の時空を超えた旅。皆さん、この旅を終えて何を思われるのか、楽しみです。



MITSUBISHI PAVILION
三菱未来館



いのちの始まり、いのちの未来

JOURNEY
TO
LIFE

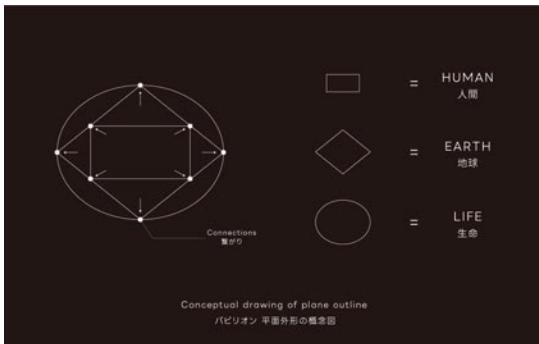
Introduction/ 旅のガイド

Astrobiology/ アストロバイオロジー

MOTHER SHIP,UNIFORM&STAFF

VIRTUAL PAVILION / バーチャルパビリオン

Mother Ship マザーシップ



当パビリオン、三菱未来館は同じ意識を持ち、同じ方向に向かって進み続けた多くの人々によって作り上げられました。いわば共通の一つの進路を宿した建物となったのです。そこに皆さんが乗り込み旅をすることで「マザーシップ」が完成します。この地球上で誰かと誰かが「接している」というのは奇跡的な「繋がり」でもあります。同じことは世界と地球にも言えるのではないかと思うんです。

だからこのパビリオンでは、図形同士が接していることで、生命と人間、人間と地球、地球と生命が互いに接点を持って支えあい、繋がっていることを表現しています。マザーシップの真下には大きな地下空間が広がっており、建物全体が空中に浮遊しているような外観となっています。またエントランスは地下に設置してあり、上層階へと移動する事で物語が進行する設計となっています。これはJourney to Lifeが深海から始まり宇宙へと続く旅であることに対応しています。(代表設計者 松井章一郎／(株)三菱地所設計)



Uniforms ユニフォーム



ユニフォームデザインとコンセプト

三菱未来館のユニフォームは、「未知なる深海から遙かなる宇宙へ、いのちを巡る壮大な旅」というパビリオンのテーマを体現するデザインとなっています。水の流れをモチーフに、生命・地球・未来社会とのつながりを象徴的に表現しました。



いのちの始まり、いのちの未来
**JOURNEY
TO
LIFE**

Introduction/ 旅のガイド

Astrobiology/ アストロバイオロジー

MOTHER SHIP,UNIFORM&STAFF

VIRTUAL PAVILION / バーチャルパビリオン

Virtual Pavilions バーチャルパビリオン

いのち輝く地球を未来に繋ぐ
-Keeping the World Vibrant-

「いのちをめぐる旅」
"JOURNEY TO LIFE"

三菱未来館バーチャルパビリオンでは、「いのちをめぐる旅」をテーマに、エントランス、深海、火星の3つのルームをオリジナルシャトルでめぐりながら、壮大なバーチャルアドベンチャーが体験できます。

Travel Partner 旅のパートナー



Core コア



Compact Shuttle

コンパクトシャトル

来場者はアバターを操作して、
1人乗りのコンパクトシャトルに乗り込み、
深海と火星をめぐります。

Room ルーム



エントラスルーム Entrance Room

マザーシップの「コア」が旅のパートナーとなり、
「いのちをめぐる旅」に出発。



深海ルーム Deep Sea Room

深海の神秘的な生物に出会い、
いのちのゆたかさを体感するゲーム体験。



火星ルーム Mars Room

広大な火星を探索し、
いのちを探しながら壮大な景色に触れる旅。



MITSUBISHI PAVILION
三菱未来館

いのちの始まり、いのちの未来

